

データスクランブル/マスキング

# MASKAMBLE

開発におけるテストデータ作成  
本番データの機密情報のフィールドを データマスキングやスクランブル

## テストデータ利用における問題点

財務報告で近日中に義務化される内部統制、この内部統制にはコンピュータを利用した処理業務に対してもIT業務処理統制という位置づけでガイドラインが設けられており、各業務処理の明確化が必要とされています。特にその中でデータの扱いについては、**不正防止、誤り防止、機密保護**の各対応がとられ、エンドユーザコンピューティング（端末使用）においても**改ざん防止**の手立てが取られなければならないと報告されています。

しかし、近年、情報処理は複雑化しており、その開発・修正テストにおいては、**実データを利用しないと大幅に効率性と信頼性が低下**してしまいます。**MASKAMBLE**は、それらの問題を解消するための機能を提供します。

### IT業務処理統制

- 入力情報の完全性、正確性、正当性の確保
- システム利用に関する認証、アクセス管理
- 例外処理の修正と再処理
- マスタ・データの維持管理

実データ利用の制限

生産性、効率性、  
信頼性の低下



IT業務処理統制におけるデータ使用の問題

## 製品概要 - マスキング・スクランブル技術の利用

### ● 本番データのテスト利用を可能に

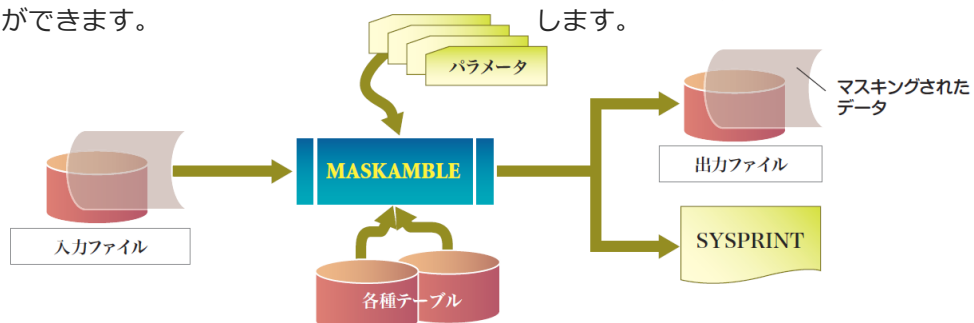
MASKAMBLEは、データのスクランブル技術とマスキング技術を利用し、本番データを加工してテストデータ化する機能を提供します。これにより、テストにおいて本番データにより忠実なデータ形式のテストデータを活用でき、テスト処理における効率性と生産性を上げ、テストの信頼性を高めることが可能となります。

### ● 安全性 - 多様な加工処理

データの加工処理では、特定条件での選択抽出が可能です。さらに、スクランブルやマスキング機能により、データ内容は異なるパターンに置き換えられるため、テストデータを安心して利用することができます。

### ● 有効性 - 変換用テーブルの採用

MASKAMBLEでは、漢字の変換テーブルに実在する住所や名前のテーブルを利用します。このため変換されるデータは、より実データに近い形を保ち、テストの有効性と信頼性を高めることに貢献します。



## 活用パターン - 導入の利点

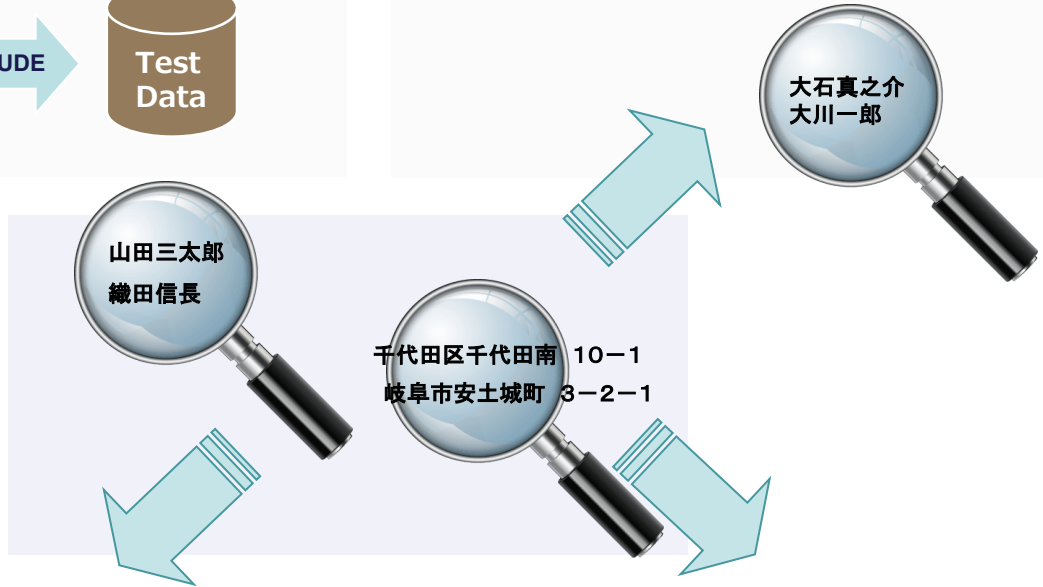
### ① 大量データからのサンプリング

本番データをそのまま利用すると、データが大量となり効率上の問題が発生します。**レコード抽出機能**は指定条件によりデータを絞り込むことができ、処理時間の効率化に役立ちます。



### ② より本番データに近いデータの作成

本番データに近い変換は、情報漏えいの危険性をともないません。**MASKAMBLE**の**スクランブル機能**では、**リアル変換機能**により、データテーブルを利用して名前、住所、数値を同一文字数で、より近い形に変換します。



### ③ 情報漏えい対策として

情報が漏えいした場合でも、漏えいデータが偽者であることを証明する**アイデンティファイア機能**を搭載しているため、ユーザは安心してデータを扱うことができます。



アイデンティファイアの  
任意間隔出力

苗字部任意指定

名前部分繰り返し

### ④ 名寄せテストの実現

情報漏えい予防のためデータにスクランブルをかけた場合でも、**名寄せ対応機能**により同名のデータは同内容に変換されます。

これにより、名前をキーにした処理テスト等でも、データを効果的に利用することができます



## 活用パターン - 導入の利点

#### スクランブル機能（簡易変換）

単純にスクランブルをかけます。

#### 処理内容表示機能

実行時の処理内容とDSNを表示します

#### レコード印刷機能

データの内容を印刷できます

#### テーブルカスタマイズ機能

変換用漢字テーブルを自由にカスタマイズ可

稼働環境：OSIV/MSP, OS/390, z/OS

CCS 株式会社 シーイーシーカスタマサービス

プロダクトサービス事業部

〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿1-5-5 JR恵比寿ビル8F

TEL : 03-5789-2443 FAX : 03-5789-2575

E-mail : ESECinfo@cec-ltd.co.jp

<https://ceccs.site>